

「新海洋混合学」国際活動支援成果報告書（2016年度後期分）

2017年 1月 6日

計画研究班名：

計画班名： A02-4

申請者氏名・所属・職名： 松野 健・九州大学応用力学研究所・教授

申請者連絡先 電話・メール： 092-583-7731・matsuno@riam.kyushu-u.ac.jp

対象者氏名・所属・職名： 堤 英輔・九州大学応用力学研究所・学術研究員

対象者連絡先 電話・メール： 092-583-7732・tsutsumi@riam.kyushu-u.ac.jp

相手先氏名・所属・職名： Ren-Chieh Lien・University of Washington・教授

相手先連絡先 住所・電話・メール： Applied Physics Laboratory, University of Washington, USA

1013 NE 40th Street Seattle, WA 98105

E-mail: lien@apl.washington.edu

Tel: +010-1-206-685-1079

申請項目（複数可、数字を記入）： 3, 4, 6, 7

1. 国際共同航海の調整, 2. 拠点形成に関わる派遣・招聘, 3. 国際共同研究関連, 4. 研究者派遣, 5. 海外研究者招聘, 6. 研究技術研修, 7. 研究動向調査, 8. その他（ ）

申請課題名：

Luzon 海峡と Philippine 海における内部波と乱流混合過程の解明に向けた研究動向調査と技術研修

成果報告要旨（A4 数枚以上図表・写真等を含む研究成果報告詳細版を別ファイルで添付すること）：

2016年9月20日より11月4日まで、米国ワシントン州ワシントン大学応用物理研究所の Ren-Chieh Lien 教授を訪問し、黒潮域における混合過程について研究動向調査を行うとともに、トカラ海峡における乱流混合について共同研究を実施した。2015年11月に計画研究班 A02-4 を中心に実施したトカラ海峡における乱流微細構造、成層、流速のデータを共同で解析し、黒潮が海山と相互作用を起こすことで強い乱流混合が生じている可能性が示された。また、今後トカラ海峡において共同研究観測の実施に向けて調整していくことで Lien 博士と合意した。

全体計画・計画研究への寄与：

今回の訪問で実施した解析結果は、学術論文として外国語査読付き論文誌に投稿予定であり、成果論文となることが期待される。また Lien 博士と協議している共同観測の実施によって、今後新たな成果が得られることが期待される。

制度の改善点・感想等：

旅費や渡航の手続き等の問合せに迅速に対応していただき、大変助かりました。

実際の日程：

2016年 9月 20日	福岡県大野城市出発後、成田国際空港から出国
9月 20日(現地時間)	シアトル-タコマ国際空港着
9月 20日	
～11月 3日(現地時間)	ワシントン大学応用物理研究所 勤務
11月 4日(現地時間)	シアトル-タコマ国際空港発
11月 5日	成田国際空港着 夜に福岡県の自宅に帰還